

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	08	104550	文化財保護活用事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-5	芸術文化の振興		
	施策	3	文化財の保護と活用		
目的	文化財の保護と活用				
対象	市民、指定文化財（将来的に文化財として指定する価値があるものを含む）				
意図	文化財愛護の気持ちを育み、指定文化財の保護意識の向上を図る。また魅力ある地域づくりのためにその周知を図る。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○文化財保護	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の調査と指定 市が所有する文化財の適切な管理運営 熊谷家の屋根葺き替え工事 花輪堤ハナショウブ群落調査検討 個人が所有する指定文化財の管理指導や修理費の補助 				
○文化財活用	<ul style="list-style-type: none"> 文化財説明板や案内板の新規設置や修繕 文化財セミナーや早池峰自然観察会の実施 				
○文化財保護（繰越明許費）	<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財熊谷家の地盤補強工事 				
市民参画の有無	[]				
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会	事業協力・協定	
	後援・協賛		補助・助成	委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 文化財調査の件数	件	計画	5	5	5
		実績	4	5	
② 文化財セミナー、自然観察会の開催件数	件	計画	3	3	3
		実績	3	3	
③ 説明板や案内板等の改修、設置件数	件	計画	9	9	9
		実績	6	7	
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 指定解除された文化財の件数	件	目標	0	0	0
		実績	0	0	
② 市内の文化財等を6つ以上知っている市民の割合	%	目標	50.0	50.0	50.0
		実績	30.1	33.8	
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
<ul style="list-style-type: none"> 指定解除された文化財が発生しなかった要因としては、文化財の保護、活用、管理を行う地域の保存会や管理団体への継続的な支援によるものである。 市内の文化財を6件以上知っている市民の割合が目標を大きく下回っている要因としては、日常生活において文化財に触れる機会が少なく、また、文化財に関心のない市民が多いためと思われる。 		
目的妥当性	公共関与の妥当性	地域において過疎化や少子高齢化が進行し、加えて経済状況の悪化に伴い、市民共有の財産である文化財を保存、伝承する環境は厳しさを増している。文化財は人と人をつなぎ、地域の活性化や魅力あるまちづくりに貢献するものとして、行政がその絆を取り持つ役割を担っている。
	<input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	地域コミュニティ会議と連携を図りながら、文化財説明板の設置や修繕を継続的に行うことで文化財の現状を把握でき、適切な保存に結び付けることができる。また文化財ガイドブック等を効果的に活用することで、多くの市民の関心を引くことが期待される。
	<input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	文化財は地域のシンボルであり、生涯学習や観光振興においても大きな価値を伴う。経費の削減により指定文化財の適切な維持管理ができなくなり、保存状態の悪化や、文化財そのものの散逸や滅失を招く。また地域コミュニティの沈滞を招き観光事業に大きな損失となる。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	適切な保護管理を行うことで、指定文化財が市民共有の財産としての価値を有する。所有者に対しては、管理や修繕に要する費用の一部を補助している。また所有者と連携を図りながら可能な限り公開・活用を図っている。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
<ul style="list-style-type: none"> 花巻市内指定文化財件数は平成28年度末は286件であったが、平成29年度中に、有形文化財(美術工芸品の中の古文書)として「猫塚家文書諸御用日記33冊」の1件を新規指定とした。総件数は287件となった。また、市指定文化財「熊谷家住宅」の屋根葺き替え工事を実施し文化財の保護に努めた。さらに、文化財ガイドブックを活用した自然観察会やセミナーを行い、市民の文化財保護に対する理解と認識が得られた。 		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	08	104550	文化財保護活用事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		48,620	63,762		15,142
財源 内訳	国・県	2	2		
	地方債				
	その他	15,534	48,359		32,825
	一般財源	33,084	15,401		△ 17,683

※特定財源の内訳		
県事務移譲交付金	2千円	文化財保護等事務処理交付金
雑入	102千円	出版物販売代金
まちづくり基金繰入金	48,257千円	

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標				
地域の歴史や文化財、民俗芸能の保護と活用				
事業開始の背景・経緯				
文化財保護法（昭和25年5月30日法律第214号）、花巻市文化財保護条例（平成18年1月1日条例第242号）の制定により、市内にある各分野の文化財を調査し、重要なものについて指定を行い、その保存、活用及び伝承のため必要な措置を講じてきた。				
事業概要				
○文化財保護				
・文化財の調査と指定				
・市が所有する文化財の適切な管理運営				
・熊谷家の屋根葺き替え工事				
・花輪堤ハナショウブ群落調査検討				
・個人が所有する指定文化財の管理指導や修理費の補助				
○文化財活用				
・文化財説明板や案内板の新規設置や修繕				
・文化財セミナーや早池峰自然観察会の実施				
○文化財保護（繰越明許費）				
・市指定文化財熊谷家の地盤補強工事				
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）				
市内に多く所在する国・県・市指定の文化財を守り、指定以外の文化財も調査しながら文化財を後世に継承していくことの必要性が要望されている。				

担当部署 部名 教育部 課名 文化財課 担当係長 大内典子 内線 9-30-353

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】
《花巻市の文化財保護の考え方》 「花巻市文化財保護指針」3つの基本方針 花巻の文化財を「知る」こと「守る」こと「活かす」こと
《花巻市内の指定文化財》 287件（国指定12件、県指定29件、市指定246件） ※H30.3月末現在
○有形文化財（建造物・美術工芸品）147件 「旧小原家住宅」（国指定）、「木造毘沙門天立像」（国指定）、「猫塚家文書諸御用日記33冊」（市指定・新規）など
○無形文化財（工芸技術）2件 「花巻傘」「成島和紙」
○民俗文化財（有形民俗文化財・無形民俗文化財）66件 「早池峰神楽」（ユネスコ無形文化遺産・国指定）、「南部杜氏の酒造用具」（国指定）など
○記念物（史跡・名勝・天然記念物）72件 「早池峰山及び薬師岳の高山帯・森林植物群落」（国指定）、「イーハトーブの風景地」（イギリス海岸ほか 国指定）、「花巻城本丸跡」（市指定）など
《事業内容》
■文化財保護 54,735千円
○市が所有する文化財の管理 （花輪堤ハナショウブ群落、カズクリ自生地、旧小原家住宅、伊藤家住宅、熊谷家、花巻城内伊藤家住宅）
○市指定文化財熊谷家の工事 ・市指定有形文化財「熊谷家」の茅葺き屋根の葺替え工事実施
○市指定文化財修理費補助金 ・3件補助（三嶽神社拝殿屋根、丹内山神社駒形社屋根、北湯口八坂神社樹木）
○花輪堤ハナショウブ群落調査検討 ・保存管理検討委員会 2回開催（8月4日、2月22日） ・委員会において群落に係る経過を確認し、今後の調査について検討を実施
○国選択無形民俗文化財（石鳩岡神楽・土沢神楽）調査 ・調査委員会 2回開催（11月15日、3月23日） ・調査及び調査内容の整理を実施
○文化財保護に係る事務費等 ・文化財調査、ニホンカモシカ滅失処理ほか文化財保護に係る事務費等
■文化財活用 2,112千円
○文化財セミナー及び早池峰自然観察会の開催 ・文化財セミナー（9月25日） ・早池峰自然観察会（5月30日、6月29日）
○市内に所在する指定文化財の周知 ・文化財説明板の設置及び修繕（7件）、文化財調査報告書の刊行等
■文化財保護（繰越明許費）6,915千円
○市指定文化財熊谷家の地盤補強工事

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	10	05	08	104570	埋蔵文化財保護活用事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	3	文化財の保護と活用			
目的	埋蔵文化財の保護と活用					
対象	遺跡					
意図	地域の歴史を知る貴重な歴史遺産である遺跡を保護する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○埋蔵文化財の保護 28,293千円 ・埋蔵文化財保護のための遺跡情報の周知と保護措置（試掘調査・工事立会等） ・埋蔵文化財の記録保存調査の実施 ・花巻城跡の内容確認調査の実施 ・公有化遺跡の環境整備						
○埋蔵文化財の活用 732千円 ・埋蔵文化財・史跡等を活用した講演会、遺跡調査報告会等の開催 ・埋蔵文化財を活かした地域事業への協力 ・総合文化財センターにおける埋蔵文化財資料の展示、収蔵資料の整理 ・遺跡標柱の設置						
市民参画の有無 []						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	埋蔵文化財保護制度を周知した回数	回	計画	3	3	3
			実績	2	3	
②	各種講座・展示会等の開催	回	計画	5	5	5
			実績	5	5	
③	遺跡標柱設置数	本	計画	10	10	10
			実績	11	7	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	保護された遺跡の件数	件	目標	80	80	80
			実績	117	104	
②	埋蔵文化財関係講座等受講者数	人	目標	300	1,500	1,000
			実績	2,315	2,151	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	○	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
埋蔵文化財の保護件数は、遺跡内で開発を行う場合の文化財保護法に基づく届出により、事前の保護の取扱いを実施した件数である。景気の動向等により開発数は変動するが、平成29年度は目標を上回る104件の保護となった。 埋蔵文化財は、地域の歴史を知る貴重な財産であるため、これらの保護の徹底と周知を目的に、市民を対象とした各種講座、出土品展示、体験学習など教育普及機能の向上に努めており、その結果、目標を上回る受講者となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	埋蔵文化財は国や地域の文化の成り立ちを明らかにする上で欠くことのできない国民共有の財産であり、地域の資産でもある。その保護と活用に努めることは、地方公共団体の任務として文化財保護法に規定されており、市の主体的な実施が必要である。
	○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	岩手県教育委員会との連携による県内開発業者への周知徹底を図るほか、建設部等庁内関係部署とのさらなる情報共有により、保護活動を向上させる。また、埋蔵文化財資料等を活用した講座等を開催することにより市民意識を一層向上させることができる。
	○ 向上余地がある 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	埋蔵文化財を正しく保護・活用するために、専門知識及び経験を有した職員の対応が必要であることから、現行の事業費及び人件費の削減余地はない。
	○ 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	埋蔵文化財の保護は貴重な文化財を保護するものであり、記録保存された遺跡の調査成果等の公開は、地域の歴史を知る財産として、市民はもとより国民に受益が及んでいることから、公平である。
	○ 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
本事業の実施により、貴重な歴史遺産である埋蔵文化財が適切に保護され、遺跡に対する市民意識を高めることができた。 埋蔵文化財保護のため、保護措置及び埋蔵文化財資料を活用した展示、埋蔵文化財講演会や遺跡調査報告会等の講座を実施したことにより、市民の埋蔵文化財に対する理解を深めた。また、花巻城跡の遺跡内容確認調査は、成果を市ホームページに掲載しており、講演会や各種講座とともに花巻の歴史に触れる機会を提供し、地域の文化財愛護意識を醸成することに寄与した。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 教育部 課名 文化財課 担当係長 佐藤 幸泰 内線 29-4567

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	08	104570	埋蔵文化財保護活用事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		51,055	29,025		△ 22,030
財源 内訳	国・県	3,945	4,156		211
	地方債				
	その他	20,113	5,959		△ 14,154
	一般財源	26,997	18,910		△ 8,087

※特定財源の内訳

・国庫 国宝重要文化財等保存整備費補助金	3,223	(補助基準額6,447千円 (1/2))
・県 事務移譲交付金642、文化財保護事業補助金	291	(補助基準額2,513千円 (11.6%))
・その他 復興支援・原因者負担発掘調査受託費	5,924、雑入 (体験学習材料代)	35

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------

部重点施策における目標

文化財を保護し活用する

事業開始の背景・経緯

文化財保護法（昭和25年法律第214号）に基づき、遺跡の周知徹底、遺跡内での開発行為等の把握に努め、保護に必要な指導及び措置を講ずるとともに、保護された遺跡の情報を活用し、市民の埋蔵文化財への理解を深めるよう努めてきた。

事業概要

- 埋蔵文化財の保護 28,293千円
- ・埋蔵文化財保護のための遺跡情報の周知と保護措置（試掘調査・工事立会等）
 - ・埋蔵文化財の記録保存調査の実施
 - ・花巻城跡の内容確認調査の実施
 - ・公有化遺跡の環境整備

- 埋蔵文化財の活用 732千円
- ・埋蔵文化財・史跡等を活用した講演会、遺跡調査報告会等の開催
 - ・埋蔵文化財を活かした地域事業への協力
 - ・総合文化財センターにおける埋蔵文化財資料の展示、収蔵資料の整理
 - ・遺跡標柱の設置

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

花巻城跡の取得保存や史跡等の活用等について、議会等から要望があり、調査状況の成果公表や講演会の開催等埋蔵文化財の周知、活用に努めている。

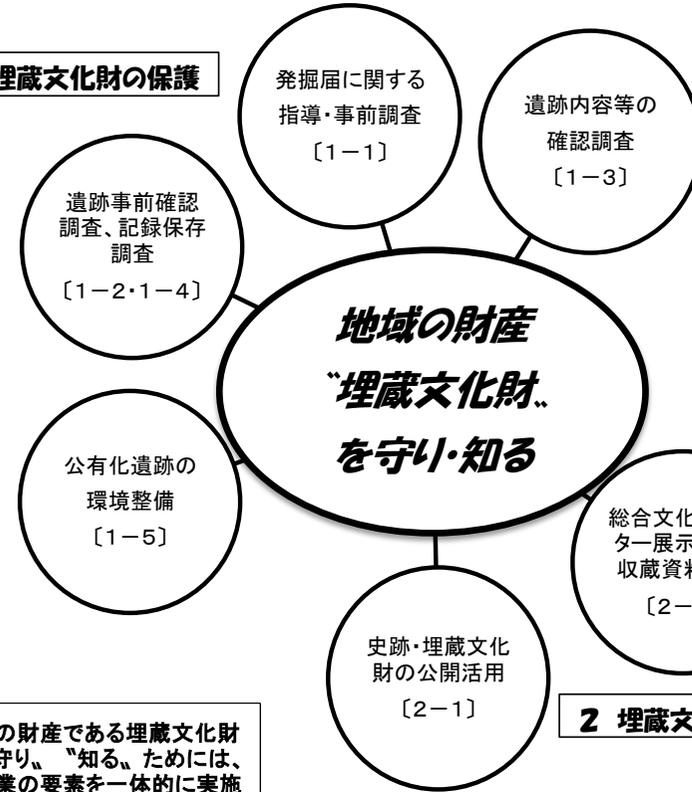
《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

埋蔵文化財行政の業務の段階			
把握・周知	調整	保存	活用
分布調査等による遺跡の把握と周知	開発行為との調整	記録保存調査・保存目的調査の実施	調査成果の展示・体験学習の実施等



埋蔵文化財保護活用のイメージ

1 埋蔵文化財の保護



地域の財産である埋蔵文化財を“守り”、“知る”ためには、各事業の要素を一体的に実施する必要がある。

2 埋蔵文化財の活用

平成 29 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	08	104570	埋蔵文化財保護活用事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1 埋蔵文化財の保護 28,293 千円

1-1 発掘届に関する指導・事前調査

	事業費	財源内訳				
		国	県	地方債	その他	一般財源
H29	8,975		642			8,333
H28	22,556		709			21,847
増減	△ 13,581		△ 67			△ 13,514

- 遺跡範囲照会回答
- 文化財保護法に基づく届出事務等
- (仮称)花巻城跡保存計画策定に向けた調査
 - ・花巻城跡調査保存検討委員会の開催 (1回)
 - ・花巻城跡調査等スケジュール (H28～32予定)

年度	実施予定内容
H28	二之丸跡内容確認調査、次年度以降調査検討 (花巻城跡委員会)
H29	二之丸跡内容確認調査、次年度以降調査検討 (〃)
H30	本丸跡内容確認調査、二之丸跡調査報告書刊行、次年度以降調査検討 (〃)
H31	本丸跡内容確認調査、花巻城跡保存計画案検討
H32	花巻城跡保存計画案とりまとめ、本丸跡調査報告書刊行

- 岩手県遺跡台帳登録
- 岩手県史跡整備市町村協議会負担金

1-2 遺跡事前確認調査、個人住宅等記録保存調査 【国庫・県補助対象】

	事業費	財源内訳				
		国	県	地方債	その他	一般財源
H29	2,586	1,256	291			1,039
H28	3,998	1,981	435			1,582
増減	△ 1,412	△ 725	△ 144			△ 543

- 開発範囲状況確認
- 記録保存調査の実施
- 工事立会等保護措置
 - ・調査予定件数

	H29	H28	H27	H26	H25
確認調査 (試掘調査)	21	17	27	27	43
記録保存調査 (発掘調査)	0	4	2	1	8

- ・報告書刊行
H28記録保存調査遺跡…花巻城跡・馬頭遺跡に係る報告書

1-3 遺跡内容等の確認調査 【国庫補助対象】

	事業費	財源内訳				
		国	県	地方債	その他	一般財源
H29	4,322	1,967				2,355
H28	2,316	820				1,496
増減	2,006	1,147				859

- 市内遺跡の内容確認
 - ・花巻城跡の保存活用に向けた内容確認調査の実施
H29調査 調査場所 花巻城二之丸南御蔵跡付近市有地 (H27取得地)
調査期間 平成29年10月16日～11月30日
調査面積 約665㎡

1-4 記録保存調査(受託事業)

	事業費	財源内訳				
		国	県	地方債	その他	一般財源
H29	11,872				5,924	5,948
H28	20,359				20,083	276
増減	△ 8,487				△ 14,159	5,672

- 公共事業対応
 - ・復興支援に係る室内整理受託 (2,785千円)
委託者 山田町
H29業務内容 復元土器実測、トレース、(拓本)
- 開発対応 (原因者負担による受託)
 - ① 上館遺跡発掘調査に係る室内整理及び報告書刊行 (1,199千円)
委託者 社会福祉法人 (特別養護老人ホーム整備)
受託期間 平成28年度～29年度 (最終年度)
 - ② 不動I 遺跡発掘調査に係る室内整理及び報告書刊行 (1,924千円)
委託者 個人 (アパート建築)
受託期間 平成28年度～29年度 (最終年度)
 - ③ 上ノ山遺跡発掘調査の実施 (5,964千円)
事業内容 市道公園線・公園2号線 (大迫地区) 道路改良工事
事業主体 花巻市 (建設部道路課)
調査期間 平成29年度～30年度 (29年度は野外調査)

平成 29 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	08	104570	埋蔵文化財保護活用事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1-5 公有化遺跡の環境整備

	事業費	財源内訳				
		国	県	地方債	その他	一般財源
H29	538					538
H28	394					394
増減	144					144

■ 公有化遺跡の環境整備

- 対象遺跡…久田野Ⅱ遺跡・毒沢城跡・新堀城址(遊歩道)・岳妙泉寺跡

2 埋蔵文化財の活用 732 千円

2-1 史跡・埋蔵文化財の公開活用

	事業費	財源内訳				
		国	県	地方債	その他	一般財源
H29	569					569
H28	722					722
増減	△ 153					△ 153

■ 遺跡標柱の計画的な設置

■ 講座等の開催

- 市内遺跡標柱製作・設置…7か所/年
- 埋蔵文化財講演会の開催

- 「ここまでわかった御所野遺跡-世界遺産登録に向けて-」
実施時期…平成29年9月30日 講師 高田和徳氏（御所野縄文博物館長）
- 「花巻城と九戸城 - 南部藩の城の歴史 -」
実施時期…平成30年1月20日 講師 関豊氏（元二戸市埋蔵文化財センター所長）

2-2 総合文化財センター展示公開・収蔵資料整理

	事業費	財源内訳				
		国	県	地方債	その他	一般財源
H29	163				35	128
H28	710				30	680
増減	△ 547				5	△ 552

■ 体験学習の実施

■ 企画展等による収蔵資料の公開及び資料整理

- 総合文化財センター体験学習
メニュー…勾玉づくり、火おこし体験、弓矢体験、館内クイズ、
ペーパークラフト体験、菓子型アート体験

・ 総合文化財センター企画展の開催

- 「ほんものそっくり粘土アート展」(2/24～5/7)
入館者数 1,165人（期間計2,105人）
- 「小瀬川Ⅰ遺跡展」(7/15～9/24)
入館者数 762人
- 「大迫開町400年・大迫の町場をつくった先人たち展」(12/2～1/28)
※共同企画展開催事業
入館者数 334人

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	10	05	09	104590	展示活動事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	3	文化財の保護と活用			
目的	博物館事業の展示活動					
対象	市民					
意図	展覧会の開催により市民が普段目にする事が無い歴史的資料や美術作品を紹介し、花巻の歴史や文化財への興味と関心を高める。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<input type="checkbox"/> 資料収集活動事業 <input type="checkbox"/> 調査研究活動事業 <input type="checkbox"/> 教育普及活動事業 <input type="checkbox"/> 展示活動事業 ・企画展「多田等観展 ～チベットに捧げた生涯と西域への夢～」7/1～8/20 ・テーマ展 「花巻城展」9/16～11/12 「花巻人形展」30/2/17～5/6 ・共同企画展 「及川全三展」12/9～30/1/28						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	展覧会開催回数	回	計画	5	4	6
			実績	5	4	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	博物館入館者数	人	目標	20,000	20,000	20,000
			実績	19,192	13,950	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
前年度に引き続き、学芸員が花巻の歴史や文化について豊富な知見を蓄えることを目的に、展示活動の基本となる調査研究に力を置き事業を進めた。 博物館の研究テーマの一つである多田等観については没後50年を迎えることから、各研究機関の協力のもと企画展において資料展示の拡大をはかり、また懸案となっていた資料図録を発刊し、これまでの研究成果をまとめる節目となった。 展示活動事業全体としては目新しさに乏しいものとなったことは否めず、成果指標に掲げた来館者の目標数値に届かなかった要因となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	花巻市の考古・歴史・美術工芸各分野の貴重な資料を収集及び保管すること、そして調査研究によって資料の歴史的な価値を明らかにし、公開等を行うことで、市民の教育、学術及び文化の振興に寄与することが博物館の役割である。
	効果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	展覧会は、学芸員の調査研究活動が十分に反映されたものとし、市民の知的好奇心に訴える資料の選定を行い、開催趣旨に沿った内容の充実に努めている。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	企画決定後の費用の積算にあたっては、展示資料の安全確保と魅力を最大限に伝えるディスプレイを行うため、コストバランスを十分に考慮し、事業費、人件費とも精査して経費の削減に努めている。
	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	各展覧会の入館料は来館者に配慮した価格設定としている。加えて団体料金他各種割引料金を設定している。
総合評価 …上記評価結果の総括		
展覧会事業は企画展示室で行う展示とその関連事業とで構成されているが、各展覧会の関連事業として行ったワークショップやミュージアムコンサート、専門研究者による講演は好評で、いづれも多く参加者があった。 資料展示はどうしても学術的な印象が強くなりがちで理解しにくい部分も否めないが、関連事業の開催により、展覧会の開催の意図や目的が理解しやすいものとなった。歴史や文化がより身近なものとして感じることができるよう各事業で学芸員の工夫や創意が見られた。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 教育部 課名 博物館 担当係長 小原克仁 内線 32-1030

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	09	104590	展示活動事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		7,788	9,783		1,995
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他	128	413		285
	一般財源	7,660	9,370		1,710

※特定財源の内訳

・その他（雑入） 企画展図録販売料413

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------

部重点施策における目標
文化財の保護と活用

事業開始の背景・経緯
博物館は、市民が郷土の歴史や文化を学び、興味と関心の向上を図る機関として市民からの要望のもと建設された。展示内容をより理解しやすくするため、毎年展覧会・各種講座及び体験学習を開催している。

事業概要

- 資料収集活動事業
- 調査研究活動事業
- 教育普及活動事業
- 展示活動事業
 - ・企画展「多田等観展 ～チベットに捧げた生涯と西域への夢～」7/1～8/20
 - ・テーマ展 「花巻城展」9/16～11/12
 - 「花巻人形展」30/2/17～5/6
 - ・共同企画展 「及川全三展」12/9～30/1/28

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）
花巻市内の遺跡を紹介、活用した取り組み、多田等観関係資料や花巻との交流の継続的な調査の要望、近世花巻の歴史や文化財の継続的な調査や展示を望む意見がある。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

花巻市博物館が行う4つの活動

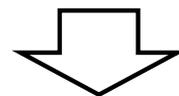
①資料の収集及び整理保管
掛軸表装・刀研磨費 363,840円
① 2,509,757円 消耗品費 593,645円
博物館資料購入費 1,552,272円

②資料の展示公開
② 6,847,425円

展覧会名	開催期間	経費（直接経費）	経費（共通経費）
企画展 多田等観展	7/1～8/20	ワークショップ 謝礼 50,000円	消耗品費 335,932円
		資料借受等旅費 147,420円	案内看板 77,760円
		印刷製本費 3,064,500円	印刷物発送費 24,125円
		資料借用保険 5,000円	(テーマ展)
		広告費 108,000円	
		印刷物発送費 21,130円	
		資料運搬費 1,497,200円	
		展示造作費 390,960円	
		小計 5,284,210円	
		テーマ展 花巻城展	9/16～11/12
		印刷製本費 118,800円	
テーマ展 花巻人形展	2/17～5/6	ワークショップ 謝礼 45,000円	
		展示作業 121,176円	
平成30年度企画展準備		調査旅費 98,810円	
		宣伝用垂幕 280,800円	

③調査研究及び情報の提供
古文書調査業務 200,000円
花巻人形色彩調査業務 225,720円
③ 425,720円

④教育普及



市民文化の向上発展
ふるさとの特色ある伝統文化を継承しながら、親しみ理解する生涯学習活動に貢献する。

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	09	104600	教育普及活動事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	3	文化財の保護と活用			
目的	博物館事業の教育普及活動					
対象	市民、児童・生徒、教師					
意図	市民や市内小中学校の児童生徒に博物館での学習を通じて、ふるさとの歴史や文化への興味と関心を深め郷土を愛する心を養う。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 資料収集活動事業 <input type="checkbox"/> 調査研究活動事業 <input type="checkbox"/> 展示活動事業 <input type="checkbox"/> 教育普及活動事業 博物館と学校教育の連携による調査・研究 体験学習・各種講座の開催						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	講座回数	回	計画	13	15	12
			実績	33	46	
②	体験学習開催回数	回	計画	16	11	9
			実績	20	18	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	講座受講者数	人	目標	600	300	240
			実績	1,328	1,944	
②	体験学習受講者数	人	目標	300	210	180
			実績	434	474	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
年度当初に計画した館主催の講座に加え、市内各小学校への出前授業、地域コミュニティの集まりなどの出前講座の要望が多数あった。市民の花巻の歴史や文化に対する学習意欲の向上が感じられた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	博物館と小・中学校とが連携することで、郷土の歴史や文化に対する興味関心を高め、深い理解へと導くことで、地域を大切にする心を育む。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	博物館所蔵資料を念頭に、各種講座や体験学習において、受講者のニーズや時代に即応した内容を考えることで充実を図っていく。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	講座・体験学習とも地域の文化に則した内容であり、専門的な知識や技術を有した人材が必要である。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	講座・体験学習とも基本的に受講や参加に制限はなく、費用についても実費となる材料費のみの負担である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
従前の講座に加えて新たな講座を取り上げることでメニューの充実を図った。花巻の歴史や文化の知識を深めるだけでなく、受講者自らが文化の担い手として伝統を受け継ぐ可能性に配慮した。 博物館と小中学校との連携については、各校の年間行事予定の中で博物館の役割が定着しつつある。博物館でのワークシートを活用した見学学習や、実際に各校におもむき出前授業を行うことで、親しみのもてる歴史や文化の学習を提供した。 学習メニューの作成は、各校の担当教諭と密に連携を図りながら、各校共通で学べるものに加え、それぞれの地域特性をもちこんだ内容とすることで興味や関心を高めるように工夫した。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	09	104600	教育普及活動事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,738	2,027		289
財源 内訳	国・県				
	地方債				
	その他	52	44		△ 8
	一般財源	1,686	1,983		297

※特定財源の内訳

・その他（雑入） 体験学習材料代44

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------

部重点施策における目標
文化財の保護と活用

事業開始の背景・経緯

博物館は市民が郷土の歴史や文化を学び、興味と関心の向上を図る機関として市民からの要望のもと建設された。展示内容をより理解しやすくするため毎年展覧会・各種講座及び体験学習を展開している。また、学校教育と博物館活動の連携を充実させるため、博学連携事業を実施

事業概要

- 資料収集活動事業
- 調査研究活動事業
- 展示活動事業
- 教育普及活動事業
 - 博物館と学校教育の連携による調査・研究
 - 体験学習・各種講座の開催

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

小学校の教育現場より社会科の総合学習を検討するうえで、博物館との連携強化をはかることで、子供たちにより深い考察力が生まれ、地域の歴史や文化を理解する一助となっているとの

担当部署 部名 教育部 課名 博物館 担当係長 小原克仁 内線 32-1030

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

花巻市博物館が行う4つの活動

①資料の収集及び整理保管

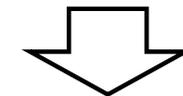
②資料の展示公開

③調査研究及び情報の提供

④教育普及

項目	回数	内訳（直接経費）	内訳（共通経費）
体験学習	花巻人形絵付け	2回 講師謝礼32,000円	社会教育指導員報酬 報酬 1,386,000円 保険料 213,231円 消耗品費 182,675円
	花巻傘づくり	1回 講師謝礼16,000円	
	こけし絵付け	1回 講師謝礼 8,000円	
	夢灯りづくり	1回 講師謝礼16,000円	
	勾玉づくり	4回	
	琥珀玉づくり	6回	
	あんぎん編み	1回 博物館学芸員対応	
	縄文弓矢・火起こし	1回	
講座	館長講座	3回 博物館長対応	委員謝礼30,000円
	博物館講座 ※1	37回 講師謝礼72,500円 旅費69,770円	
	古文書講座	6回 博物館学芸員対応	
博学連携業務			

※1 外部講師招聘3回（謝礼・旅費） 博物館学芸員対応34回



市民文化の向上発展

ふるさとの特色ある伝統文化を継承しながら、親しみ理解する生涯学習活動に貢献する。